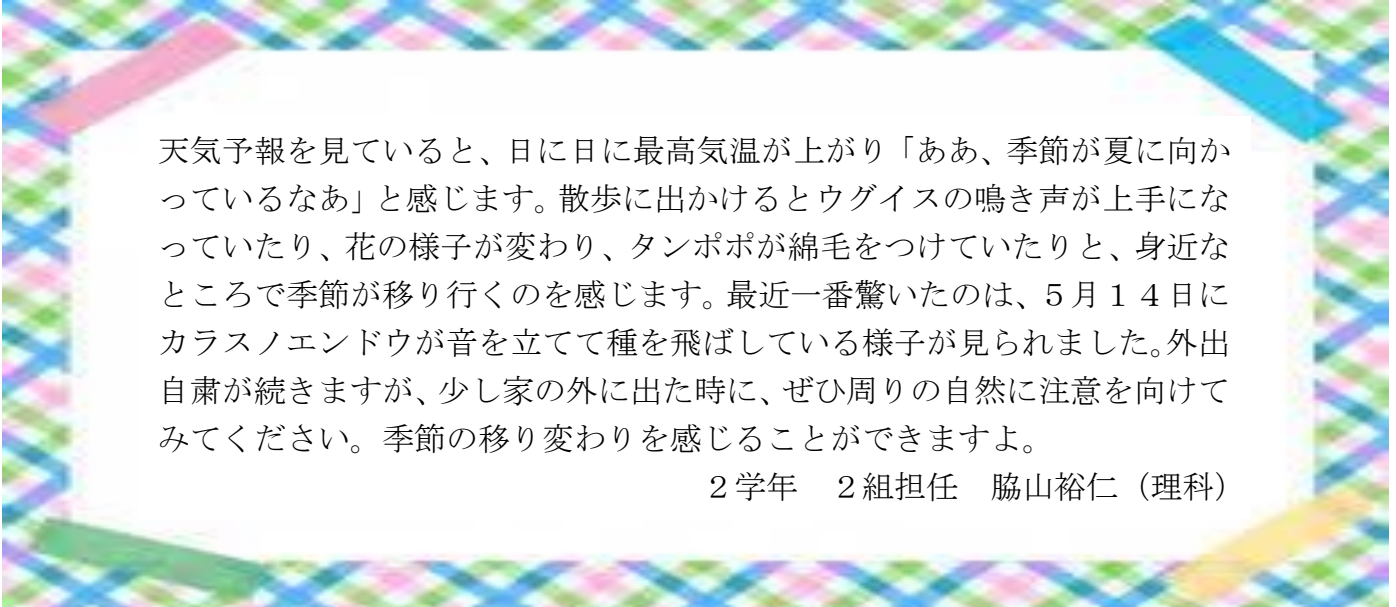


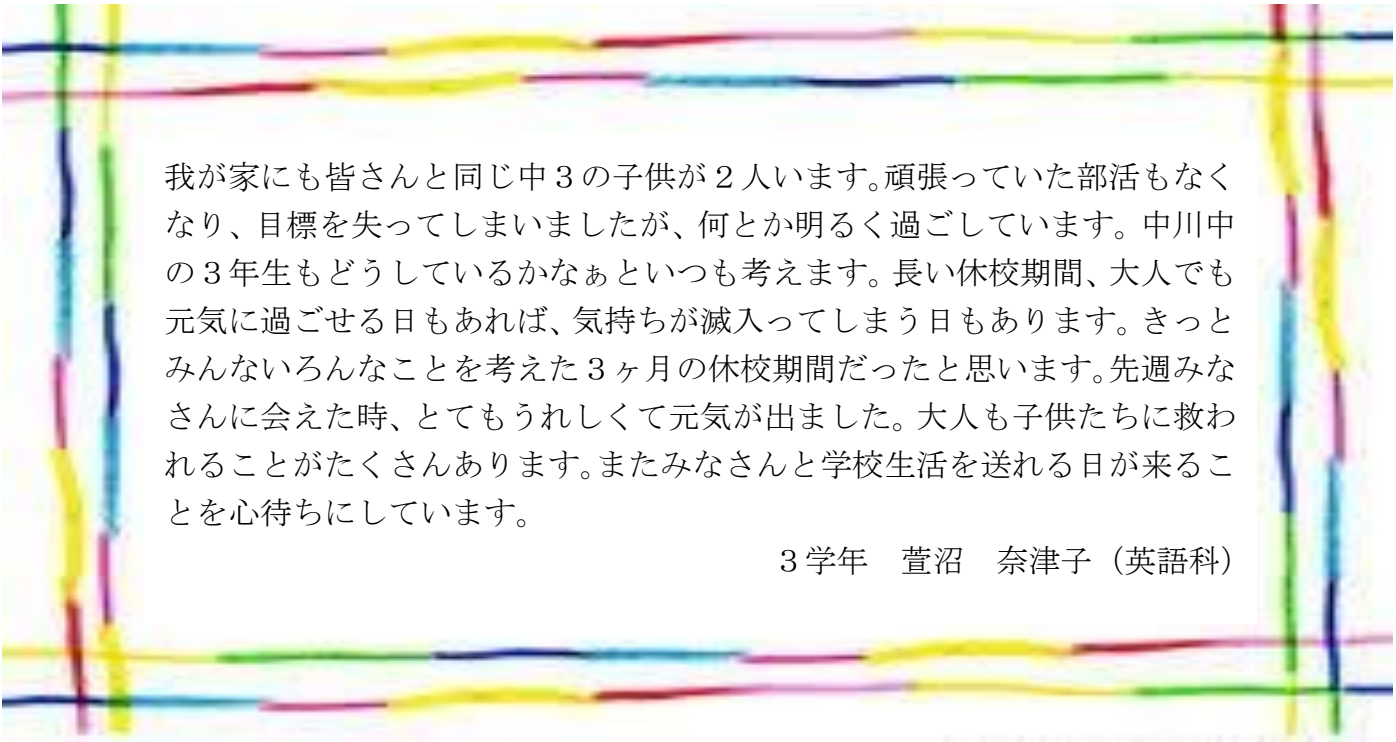
3月から、私たちが今まで当たり前に行っていた様々な教育活動ができなくなり、私たち職員は戸惑いを覚えています。ワクチンや薬の研究開発が追い付かない中で、目に見えないウイルスとの戦いはまだまだ続きます。でも、命を守っていくということを第一に考えると、新しい生活習慣を一人ひとりが心がけていくしかありません。今自分がなすべきことをしっかりと考え、家庭内でも色々な仕事に率先して取り組みましょう。学校が再開し、早く皆さん方と一緒に学べる日を楽しみにしています。

1学年 3・5組副担任 角 美代子 (技術・家庭科)



天気予報を見ていると、日に日に最高気温が上がり「ああ、季節が夏に向かっていくなあ」と感じます。散歩に出かけるとウグイスの鳴き声が上手になっていたり、花の様子が変わり、タンポポが綿毛をつけていたり、身近なところで季節が移り行くのを感じます。最近一番驚いたのは、5月14日にカラスノエンドウが音を立てて種を飛ばしている様子が見られました。外出自粛が続きますが、少し家の外に出た時に、ぜひ周りの自然に注意を向けてみてください。季節の移り変わりを感じることができますよ。

2学年 2組担任 脇山裕仁 (理科)



我が家にも皆さんと同じ中3の子供が2人います。頑張っていた部活もなくなり、目標を失ってしまいましたが、何とか明るく過ごしています。中川中の3年生もどうしているかなあといつも考えます。長い休校期間、大人でも元気に過ごせる日もあれば、気持ちが滅入ってしまう日もあります。きっとみんないろんなことを考えた3ヶ月の休校期間だったと思います。先週みなさんに会えた時、とてもうれしくて元気が出ました。大人も子供たちに救われることがたくさんあります。またみなさんと学校生活を送れる日が来ることを心待ちにしています。

3学年 萱沼 奈津子 (英語科)